

A high-altitude mountain landscape with snow-covered peaks and a clear blue sky. The foreground shows a steep, rocky slope partially covered in snow. In the distance, more snow-capped mountains are visible under a vast, clear blue sky with a few wispy clouds near the horizon.

SSE Raid Trek series
Altai ADVENTURE2023

大会名称

SSER Raid Trek series

石原孝仁 HORIZON の話を聞きながら行く冒険行！

ALTAI ADVENTURE 2023

石原 孝仁



「アルタイの氷河へ」

ロシア・アルタイ共和国/カザフスタン/中国/モンゴルの4か国が国境を接する秘境中の秘境。そこは氷河を擁するアルタイ山脈の高峰の麓。ウランバートルからモーターサイクルと4×4でアドベンチャーに旅立つ。そこにあなたは何を見るだろうか。その氷河に立てるかは、それはその人の持つ運だともいわれる、これまでにはないルートとアクティビティを交えて。石原孝仁が案内する。ただし冒険である。

開催期間：2023年 8月19日(土)～28日(月)

スケジュール

エントリー受付開始	2022年12月24日
プレエントリー参加締め切り	2023年03月20日
最終エントリー	2023年05月15日
日本国内船積手続（国際情勢により早まるおそれあり）	2023年5月中旬から末日予定

DAY0	8/19	日本- ウランバートル	Air	日本各地からウランバートルへ（旅行会社手配）ホテルにて出発準備とブリーフィング	ウランバートル ホテル泊
DAY1	8/20	ウランバートル- ツェツェルレグ	453km	ウランバートルをあとに西へ。不思議な高山の町に	ツーリストキャンプ
DAY2	8/21	ツェツェルレグ- オリアスタイ	531km	とにかく美しい風景の中を走る。森と湖の南シベリア。オリアスタイは清朝時代の総督府が置かれていた町。	ツーリストキャンプ 又はホテル
DAY3	8/22	オリアスタイ- ホブド	619km	大平原の横断、少しきつい1日	ホテル泊
DAY4	8/23	ホブド- ウルギー	211km	美しい山々を見ながら	ホテル泊
DAY5	8/24	ウルギー- 氷河ビバーク	160km	標高を上げていく、ところどころ困難な道	テント泊
DAY6	8/25	氷河ビバーク- ウルギー	160km	ゆっくりと出発	ウルギー泊
DAY7	8/26	ウルギー- ウランバートル	Air	国内線で	ウランバートル ホテル泊
DAY8	8/27	ウランバートル		自由行動	ウランバートル ホテル泊
DAY9	8/28	ウランバートル- 日本	Air	午前の便で日本へ	

エントリー費

	エントリースタイル	エントリー費	ビークル費(輸送費他)	
A	マイモーターサイクル	¥395,000	モーターサイクル 400cc 以下の車両	¥380,000
			モーターサイクル 400cc 超の車両	¥420,000
B	レンタル モーターサイクル	¥395,000	レンタル料+輸送費	¥630,000
C	マイ 4×4	¥495,000	オート 1000cc 以下の車両 または全長 3600mm 以下	¥780,000
			オート 1000cc 超の車両	¥1,050,000
D	C のナビ、同乗者	¥300,000		
E	ドライバー付き 4×4	¥625,000		
F	E の同乗者	¥300,000		
G	旅行パッケージ 全員が必要	未定 約 ¥298,000	航空機+宿泊など旅行費用は指定旅行代理店に支払う。同封のオールインクルーシブパッケージにて指定旅行代理店へお申し込みください。	

※レンタルバイクについてのご案内

基本的に SSER の所有する BMW R1250GS HP,HONDA X-ADV.の 2 台を用意しております。申し込み順の 2 名迄といたします。車両保険はありません。破損補修にかかる実費のご負担をお願いします。負傷に関しては保険が適用されます。

※十分な時間が取れる保証はありませんが天候次第ではイトウ釣りに挑戦できるようにいたしますが釣り道具類は各自でご用意ください。

※4×4 は現地で用意するものは TOYOTA ランドクルーザー100 又は同等のマシン

※サポートは 2 台のカミオンと、1 台のピックアップマシンがサポートします。

エントリー費の払い込み

2023 年 03 月 20 日まで	総額の 10%
2023 年 05 月 15 日まで	総額の 40%
2023 年 05 月 30 日まで	総額の 50%

振込指定銀行

愛媛銀行 久米支店
普通預金 3311632
SSER 代表 山田徹
(エスエスイーアール ダイヒョウ ヤマダテツ)

エントリー費に含まれるもの (G:旅行代理店手配分も含む)

- 日本-ウランバートルの往復航空運賃、現地国内線の運賃(エコノミークラス)
- 日本から車両の輸送および通関作業費用、税金
- 2023 年 8 月 19 日から 8 月 28 日までの宿泊の料金及び税・サービス料金 (2 人部屋に 2 人ずつの宿泊を基準とします。テント泊、ツーリストキャンプの場合は複数の人数になります。)
- 2023 年 8 月 19 日夕食から 8 月 28 日朝食の食事の料金 (2023 年 8 月 27 日昼食のみ含まれない)
- モンゴル国内運転免許証の取得の費用
- モンゴル国内の通行料
- ガソリン代 (給油時の各自精算の手間を省いてスムーズに行うためです)

エントリー費に含まれないもの

- 車両本体代金
- 車両の登録費用
- 超過手荷物料金
- クリーニング代、電話電報料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付け、その他追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金

- オプショナルツアー料金
- 海外旅行傷害保険の費用
- 2023年8月27日昼食

エントリーの拒否と取り消し

エントリーの取り消し、払い戻しの請求はメール等文書で行います。

取り消しによるエントリー費の返還は以下の通りといたします。

2023年6月10日以前に取り消せば全額の30%を払い戻しますが、それ以降の払い戻しは出来ませんのでご注意ください。

5月15日までに以下のものを提出しなければならない。

- ① エントリーフォーム
- ② 誓約書・健康管理届
- ③ 少なくとも2024年4月まで有効なパスポートのコピーを1通
- ④ 国際運転免許証（2023年10月31日まで有効なもの）
- ⑤ 国内運転免許証のカラーコピーを1通
- ⑥ 顔写真 2枚（サイズ4.0cm×3.0cm）必ずカラー
- ⑦ 車検証、登録証、抹消登録証のいずれかの書類（本通）未登録車両はご連絡ください。（レンタルモーターサイクルにて参加の場合は不要です。）
- ⑧ エンジン番号を石刷りまたはエンジン番号を撮影した写真（レンタルモーターサイクルにて参加の場合は不要です。）
- ⑨ 輸送のための誓約書、委任状 各1通（レンタルモーターサイクルにて参加の場合は不要です。）

装備品規定：

- ① 2013年4月1日以降に生産されたヘルメットで SNELL 2000 以上の規格または JIS 規格適合品
*但し「用途（125cm³未満の旨）」の表示品は使用できない。また上記を満たしていても大きな損傷のあるものは使用できない。フルフェイスタイプのヘルメットが義務づけられる。※モーターサイクル参加者のみ
- ② 十分なプロテクション効果を持った脊椎パット。肩、鎖骨、胸部、及び腹部のパットが義務づけられる。腹部は一般的にいうウエストベルトでも構わない。※モーターサイクル参加者のみ
- ③ サングラス、帽子、ダウンジャケット
- ④ シュラフ（フルシーズン用）
- ⑤ 懐中電灯 2ケ（ヘッドランプタイプ×1、マグライトタイプ×1）
- ⑥ メディカルキット

目薬、鎮痛剤、2種類の下痢止め、抗生物質、包帯、絆創膏、リップクリーム、ビタミンC剤、塩化ナトリウム、消毒薬

- ⑦ サバイバルキット

マグネチックコンパス、アルミシート(2m×1m以上)1人当たり1枚、レインウエア（一定以上の性能のもの）ラチェット式タイダウンベルト2組※モーターサイクル参加者のみ

- ⑧ 通信設備

144MHz帯VHF/FMのトランシーバーの携行をすすめる。

- ⑨ GPS はモーターサイクル参加者はご用意ください。

集合場所や目的地を GPS ポイントで指定する場合があります。

医療：この行程は極めて辺境の地でリスクが高いことを認識する必要がある。自身の起こした事故等は全て各自の責に帰し、主催者は最善を尽くすがそれらによって発生した費用および損害は全て参加者が負担しなければならない。

装備：厳冬期と秋のシーズンの 2Way の装備が必要である。一定の重量は主催者に預け入れできるが、それを超えたものは各自が車載などをしなければならず、効率よくかつ軽量のものを装備すること。これらに関しては主催者がコンサルティングを行う。

精神：このイベントは、世界のもっとも辺境の地のひとつに行くものであり、主催者の指示に従い、これが出来ないものは排除させることがある。

この大会への参加はまた環境への十分な配慮と、参加者間のチームワークの発揮が肝要である。

エントリー費について：例

自分の持ち込むバイクを使ってアルタイを走る場合

エントリースタイルは A マイモーターサイクル、エントリー費¥395,000 とビークル費(輸送費他)として 400cc 以下の車両の場合¥380,000 合計¥775,000 を主催者に支払う。

旅行パッケージ費用金額は未定であるが予価約¥298,000 は、主催者の指定する旅行代理店に支払。

レンタルバイクを使ってアルタイを走る場合

エントリースタイルは B レンタルモーターサイクル、エントリー費¥395,000+レンタル費用および輸送費として¥630,000 合計¥1,025,000 を支払。

旅行パッケージ費用金額は未定であるが予価約¥298,000 は、主催者の指定する旅行代理店に支払。

アルタイアドベンチャーQ&A

Q:どのような種類の旅ですか？

A:これまでのラリーレイドの概念をもとに長距離、長時間のライディングでひたすら西の彼方へ向かうものです。厳しさと楽しさ、多くの要素が盛り込まれています。

Q：どのようなルートで計画しているのですか？

A：「ウランバートルを出発して、西に向かいます。草原と砂漠と、時には川と湖、美しい森林地帯を通り抜けます。清朝時代に総督府の置かれていたオリアスタイヤ、大きな美しい湖のあるホブドなどを通ります。3 つの世界遺産、`オルホン川の歴史的な景観`と`ウブス低地`そして目的地の`アルタイのゴールドデン・マウンテン`この一帯の最高峰は、ブラハ山(4506m)です。この世界遺産は主にロシア側ですが、その山の東側にある大きな氷河に到達します。案外山が高くないと思われるかもしれませんがこうした高緯度にある高山としては相当なもの。そしてウランバートルの帰りは航空機を使用します。」

Q；気温が心配ですがいかがですか？

A;「シーズンの的には夏が終わっています。日本で言うと 11 月くらいでしょう。晴れた昼間は暖かいのですが、ひとたび天候が崩れると気温は一気に 0℃まで下がります。特にモーターサイクルで参加をお考えの方は、雨具やインナーウエアをご検討ください。目的地の夜間は氷点下になります。テント泊は 1 回のみです予定ですが少し防寒具の準備が必要でしょう。」

Q;どんなバイクやクルマが参加できますか？

A;「車両の選択は自由です。イロイロと相談に乗れると思います。乗りなれた愛車がお勧めです。またレンタルもありますよ。クルマのナビシートというコースもあります。」

Q;なぜアルタイなのですか？

A;「SSERでは、人生最大の旅を提供してまいりました。ユーラシア大陸横断などです。そうしたなかで、地図を眺めているとこのモンゴルと中国、ロシアのアルタイ共和国とカザフスタンの4つの国が国境を接するエリアがどうしても気になっていました。そこはユーラシア大陸のまさにど真ん中で、またどんなところなのかという漠たる思いがこみ上げてきました。実はラリーでは日程的にこのエリアまで足を延ばせないのです。そしてまだあまり知られてないこのエリアに足を延ばすこと。そこにどんな冒険が待っているのかと考えれば答えは簡単でした。」

